

高校生が「鷹ノ^{たかのす}巣道路」で現場体験

- ◆羽越河川国道事務所では、地域高規格道路「鷹ノ巣道路」の早期完成を目指し鋭意事業を進めています。
- ◆土木を学ぶ高校生に、現場を見るだけでなく、普段の授業では経験できない実際の工事現場体験を通じ土木工事への理解や知識を高めてもらうことを目的に行います。
- ◆昨年に引き続き、今年で2回目の実施になります。

【実施概要】

実施日：平成27年10月21日（水）、13時30分～14時30分

※雨天等で延期の場合、平成27年10月23日（金）の同時刻

場 所：新潟県岩船郡関川村^{おおうちぶち}大内渚の工事現場内（次頁参照）

参加者：新潟県立新発田南高等学校

土木工学科3年生39名（他教諭2名）

【現場見学会内容】

- ①現場見学（場所打ち杭工、土質改良工）
- ②バックホウ試乗
- ③鉄筋結束作業
- ④土の締固め体験

※当日取材をされる方は、直接現地までお越し下さい（次頁の地図参照）

同時発表記者クラブ

新潟県政・新潟県政記者クラブ
新潟日報社（村上支局）
村上新聞社
いわふね新聞社
その他・専門誌

問い合わせ先



国土交通省 北陸地方整備局
羽越河川国道事務所
建設専門官 伊藤勝美（内線405）
TEL：0254-62-3211（代）

現場見学会の場所



昨年の実施状況



鷹ノ巣道路について



「新潟山形南部連絡道路」は村上市～山形県高畠町を結ぶ延長約80kmの地域高規格道路です。

このうち関川村下川口～片貝間の延長約5kmを「鷹ノ巣道路」として事業中です。

この区間の国道113号は急カーブや急勾配が多く、災害や事故で通行止めになった時には迂回路がないため、救急患者の搬送や通勤通学、地域の生活、経済活動等に大きな影響があります。

これらの課題を解消し、安全で円滑な交通を確保するとともに、地域間の交流促進や地域振興、活性化を図ることを目的に計画された道路です。